

上越市小中学校PTA連絡協議会 研究大会を開催しました

因は子どもの頃からの生活習慣
とを知らしました。また、その要
倒れる人が年々増加しているこ
覚症状がなく「突然」脳卒中で

市P連研究大会が11月23日に
上越文化会館で開催されました。
例年は著名人を招き、講演会を
行うのですが、今年の上越市役
所から3名の方を招いて『寝た
きり予防は子どものころからは
じまることを知っていますか？』
と題して健康に関する講演会を
行いました。

市P連研究大会について
石塚 隆 昭
(大島中学校PTA会長)



族の健康について考えることが
できた意義ある研究大会でした。

子ども生活習慣は大人に大
きく左右されるため、大人が正
しい生活習慣を選択し、実践し
ていくことで子ども達の健康も
保たれます。未来の子どもや家
族の健康について考えることが
できた意義ある研究大会でした。



テーマ 「寝たきり予防は子どものころから
始まることを知っていますか」

講師
「未来の子供と家族のために」
上越市教育委員会 教育部長 野澤 朗 氏
「上越市の大人の実態から」
健康づくり推進課 副課長 渡辺 晶恵 氏
「上越市の小中学生の実態から」
学校教育課 指導主事 富永 範子 氏

期日 平成25年11月23日

場所 上越文化会館

研究大会 参加者のアンケートより

- ・子どもの発達・成長を教育の視点だけではなく、保健・医療の視点を加えてみていこう、生まれた時から成人し、年をとって老人になるまで連続した視点で見ていこうという、講師の方々のメッセージを感じました。
- ・健康教育について学校現場でできることを再確認しました。すべてができるわけではありませんが「協力」が必要ですね。
- ・「地産地消」による食の安全性の確保について、もう少し踏み込んだ議論をしてほしかったです。
- ・子どものために自分の生活を見直したいと思いました。
- ・子は親の鏡と言います、その通りでお話の中にあっという間に食生活を特に気にしていきたいです。

七月十三日に、頸北ブロック交流会を上越レジャーランポウルにて開催しました。昨年度、柿崎区の黒川小学校が惜しまれながら百三十九年の歴史に幕を下ろされたので、今年度は小・中合わせて八校での開催となりました。

近隣の区ということもあり、昔から知っている方も多く皆さん和気あいあいとボウリングを楽しんでいました。

夜からは会場を移し、情報交換会を行いました。皆さん昼間の疲れなど少しも見せず、さまざまな話で盛り上がっていました。

私自身もいろいろな学校のPTA活動の内容・進め方などをお聞きでき、とても有意義な時間を過ごす事ができました。

今後この交流会を継続し、子どもたちの為、地域の為に頑張っていきたいと心から思いました。



ブロック交流会の紹介



十一月十七日に頸中ブロック親善ソフトバレーボール大会がありました。

今回、私たち南川小学校が主管校ということで、慣れないながらも先生方や大会役員の皆様と運営を行いました。

大会始めに、来賓として大島慶子市P連会長にご挨拶いただきました。お忙しい中本当にありがとうございました。

会場は南川小の体育館が手狭ということで大瀧小と頸城中の体育館をお借りして行いました。

どの学校もとても白熱した試合でした。見ていて、すごくドキドキ・ハラハラして興奮してしまいました。

試合の運営もスムーズに進みました。ケガ人もなかったので良かったです。

皆様の協力がなくては決まらなかった事なんだと改めて感じました。ありがとうございました。



南部ブロックでは、小中七校の交流のため、野球とバレーボールの球技大会を行っています。今年度は当日の雨で野球が延期となりましたが、翌週は天候に恵まれ、各校の選手や応援団とも皆よい汗を流すことができました。

バレーボールは、近年選手不足の声を各校から聞いてはいましたが、いざ対戦となると「にわか選手」がいるとは思えないほどの素晴らしい試合が繰り広げられました。決勝戦では手に汗を握る白熱のラリーで、試合が終わってしまうのが残念に思えるほどでした。

その後の懇親会でもそれぞれに大会を振り返り、楽しい時間を過ごすことができました。大会当日は大きなけがなく、日頃の運動不足も解消でき、とてもよい交流会となりました。



「スポーツを通じて交流を図る」「懇親会で情報交換を行い、交流を深める」この二つの目的で、七月二十日(土)に七十一名が参加し、ビーチバレーボール大会と懇親会を開催しました。ビーチバレーボール大会では、同じ学校の保護者・先生が同じチームにならないように編成して実施。初めて顔を合わせる保護者がほとんどでしたが、スポーツを通じてすぐに交流が深まり、楽しく汗を流していました。懇親会でも多くの人と交流を深められるように、籤で席を決めて実施。各校のPTA活動の内容や取組み、子育てについてなど幅広い話題で情報交換を行いました。他校の保護者や先生と交流できる貴重な時間を過ごすことができました。



平成25年度 日本PTA全国協議会長表彰

この度、日本PTA会長表彰を頂くことができました。これもひとえに、城北PTAに関する皆様、並びに地域の皆様のおかげです。大変ありがとうございました。

受賞の活動内容は、「中ノ俣ウォーキング」です。地域を巻き込んだので活動で、城北校区内を端から端まで歩く、片道16km往復32kmのどちらか選んでの遠足です。PTAと生徒と地域の皆さんが参加されます。サポートする人も大変ですが地域の皆さんの協力を頂きながら通年のイベントとしています。

今年度は「地域とともにある学校づくり」をテーマに学区子どもを育てる会との連携で城北吹奏楽部中ノ俣公演も日を合わせて行うことができました。地域と学校が繋がっているのを感じました。

受賞にあたり、城北PTAOBの皆様と推薦を頂きました、市P連・県P連の皆様にご感謝申し上げます。



城北中PTA会長 風間 寿春

第53回 新潟県小中学校PTA研究大会 小千谷大会



小千谷大会に参加しました

黒田小学校PTA会長

村山 由里子

去る10月5日、小千谷市民会館にて第53回新潟県小中学校PTA研究大会が開催され、本部役員として参加してまいりました。

今回の主題は「ともに育ち、子どもに語れる『大人の背中』を目指そう」というものでした。まずはアトラクションとして地元小千谷市の伝統芸能「天神囃子」と「吉谷水口豊年獅子舞」にて目と耳を楽しませていただき、その後、小千谷市内小中学校の大変凝った紹介を観覧し、いよいよ実践発表です。テーマの小千谷市教育委員会や小千谷青年会議所との連携「おじやっ子教育プラン」への参画とJCポスターへの協力の発表では、PTAと地域とのかわりの大事さを、学びました。

講演では、恐山菩提寺院代の南直哉さんのお話をうかがい大人として、親として自分という存在を無条件に受け入れることの大切さを子どもに伝えていきたい。そんなことを考えた有意義な研究大会でした。

編集後記

年2回発行する「市P連PRESS」。今回の発行をもって9年を終えました。ちなみに広報委員会は、市P連各ブロックから選出された委員と本部役員を合わせて11人で構成されています。ですから9年間で、延べで約100人の方々が編集に携わってきたこととなりますね。

私は、この先週作業に携わったことで、各小学校の様子や市P連各ブロックの活動を知ることができました。恥ずかしながら、代表に選出されるまでは、単位PTA以外に興味がなかったのです…。編集作業を終え、執筆してくださいました方々の苦勞を思うとこれからは、しっかり読ませていただかなければならないと深く反省しました。

さて、平成26年度は、市P連も10周年を迎えます。

積み上げた歴史を大切にしながら、未来へ向かっていく市P連PRESSを作っていきましょう！皆さんの応援と協力をお願いします！

発行 上越市小中学校PTA連絡協議会
編集 広報委員会

委員長 志賀 陽一 (安塚小学校)
副委員長 鷲津 史也 (飯小学校)
委員 平山 秀幸 (城西中学校)
松木 成徹 (附属中学校)
牧絵雄一郎 (戸野目小学校)
小林 育夫 (保倉小学校)
塚田 健一 (名立中学校)
田中 主志 (吉川小学校)
平野 育男 (明治小学校)
石田 達也 (山部小学校)
石塚 隆昭 (大島中学校)

問合せ 事務局

TEL 025-545-9203 FAX 025-545-9208
E-mail jyou-pta@joetsu.ne.jp